

CAMP TABLE SEATBAG

MFK-268 (ブラック)・MFK-269 (カーボン柄)・MFK-270 (ブラウン)

キャンプテーブル シートバッグ

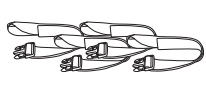
取扱説明書

この取扱説明書をよくお読みの上、安全に正しくお使いください。(取扱説明書はお手もとに保管しておいてください。)

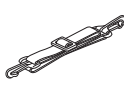
部品構成



●バッグ本体×1



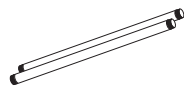
●固定ベルト×4



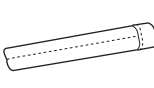
●ショルダーベルト×1



●接続バックル×1



●テーブル脚×2



●テーブル脚袋×1



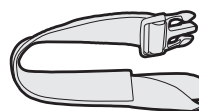
●レインカバー×1



●取扱説明書×1

車両への取付方法

1 「固定ベルト」のループ状になっている部分を使用しバッグの取り付け位置を想定して車両に取り付けます。



固定ベルト

▲ 注意

- バックルの裏表を間違えと装着できません。
- 車体の温度が高い部分(エンジンやマフラー等)にベルト、バックル、バッグ等が触れると溶ける場合があります。

車両フレーム等の場合

取り付けたい部分(フレームやウインカーステー等)に固定ベルトのループ部を巻き付け、ループ部の中に固定ベルトのバックル側を通します。



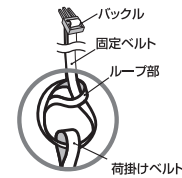
一般的な荷掛けフックの場合

固定ベルト先端のループを荷掛けフックに引っかけます。

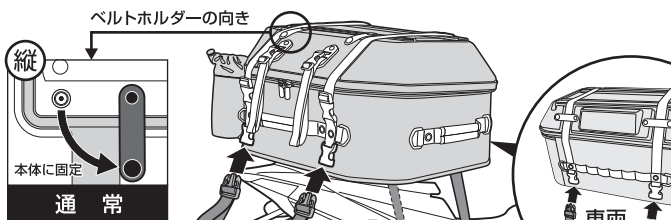


ベルトタイプの荷掛けフックの場合

固定ベルトのループ部を荷掛けベルトに通し、ループ部の中に固定ベルトのバックル側を通します。



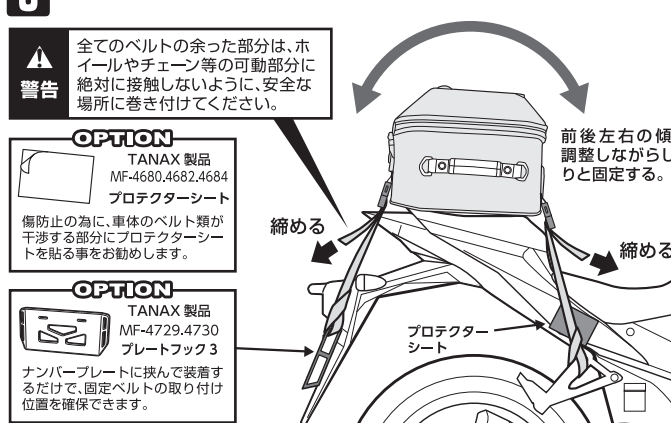
2 バッグが前後左右均等のテンションになるようにベルトを締めて調整します。



▲ 注意

テーブル使用時以外はベルトホルダーを必ず本体側(縦位置)に固定してください。

3 前後左右のバランスを固定ベルトで調整し、しっかりと固定します。



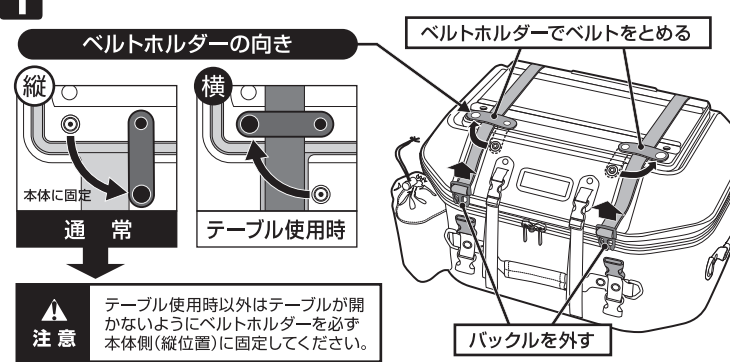
全てのベルトの余った部分は、ホイールやチェーン等の可動部分に絶対に接触しないように、安全な場所に巻き付けてください。

OPTION
TANAX 製品
MF-4680,4682,4684
プロテクターシート
傷防止の為に、車体のベルト類が干渉する部分にプロテクターシートを貼る事をお勧めします。

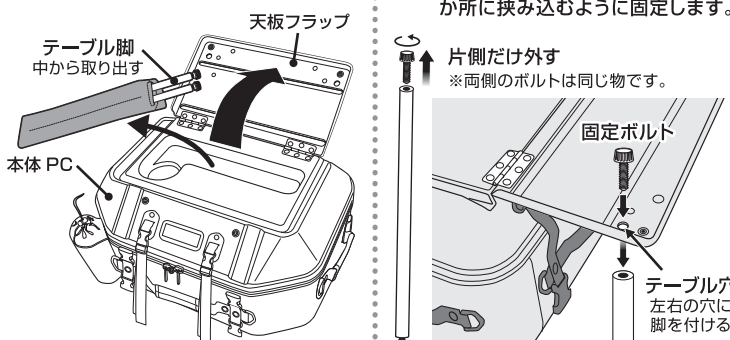
OPTION
TANAX 製品
MF-4729,4730
プレートフック3
ナンバープレートに挟んで装着するだけで、固定ベルトの取り付け位置を確保できます。

テーブルの使用法

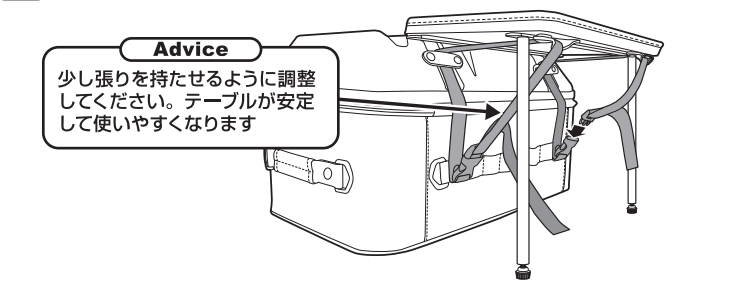
1 ベルトホルダーのフックを外し横向きに止めなおす。本体ベルトのバックルを外す。



2 天板フラップを開き、本体PCの凹部からテーブル脚を袋ごと取り出す。



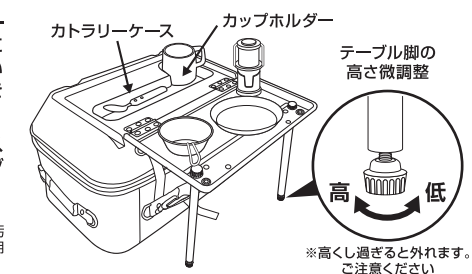
4 左右の本体ベルトのを図の様にテーブルの下側で接続し、適度にテンションがかかるように長さ調節をします。



5 高さ約 30 cm のハイテーブルが完成。設置場所に合わせてガタ付きが無い様にテーブル脚の高さを調整してください。



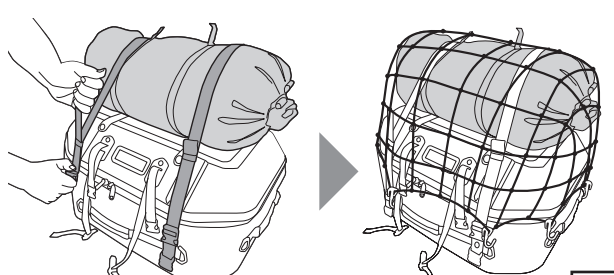
※地面が湿等汚れている時は、汚れ防止の為にシートを引いて使用する事をお勧めします。



使用法

バッグの上部の積載方法

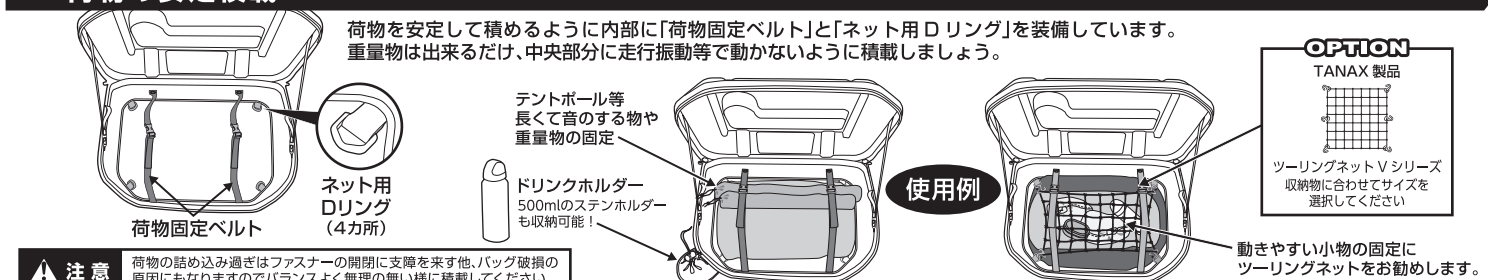
- ① テントにベルトをかけてバックルを留め固定する。
- ② テントが抜け落ちないように必ずネット等で固定してください。



▲ 注意

荷物の重量や位置によっては積載が安定しない場合があります。重量を調整してバランスよく無理の無い様に積載してください。

荷物の安定積載

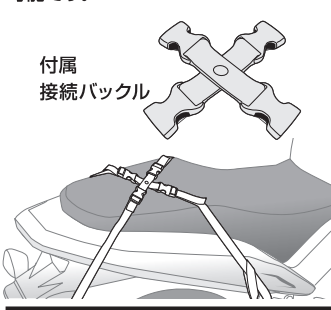


▲ 注意

荷物の詰め込み過ぎはファスナーの開閉に支障を来す他、バッグ破損の原因にもなりますのでバランスよく無理の無い様に積載してください。

バッグ取り外し後

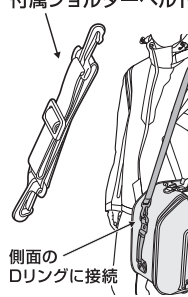
取り外し後の固定ベルトは付属の接続バックルで車体に取り付けておくことが可能です。



バッグの持ち運び

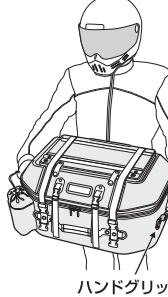
●肩掛け使用時

付属ショルダーベルト



●抱えて移動時

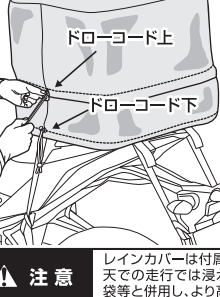
ハンドグリップ



レインカバーの使用法

ドロークコード上

ドロークコード下



まず、「ドロークコード下」でバッグ全体をぐるんてアジャスターで固定。次に「ドロークコード上」で積載物に合わせてアジャスタースターで締めて、レインカバーをバタツキが無いようにしっかりと固定します。上部積載が無い時は、余った部分を内側に折り込んで固定してください。

▲ 注意

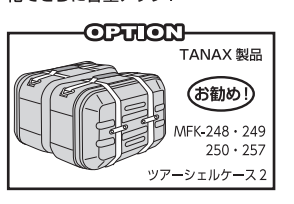
余ったレインカバーは内側に折り込みしっかりと固定してください。余ったドロークコードは固定ベルトに巻き付け、コード自体を結ぶ等して垂れ下がる事の無いようにしてください。車両への巻き込みの原因となります。

▲ 注意

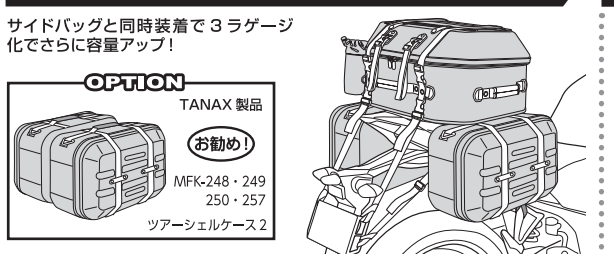
レインカバーは付属しておりますが、完全防水ではありません。水没や激しい雨天での走行では浸水する可能性があります。電子機器や大切な荷物はビニール袋等と併用し、より高度な浸水対策をお勧めします。

セット使用のお勧め

サイドバッグと同時装着で3ラゲージ化でさらに容量アップ!

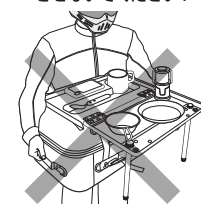


OPTION
TANAX 製品
MFK-248・249
250・257
ツアージュケース2

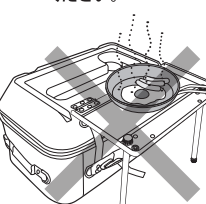


▲ 注意

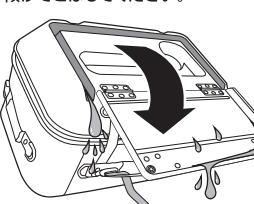
物を載せたまま移動させないでください!



熱い物を載せないでください。



溜まった雨水等は満のある後方に傾けてごぼしてください。



▲ 取付上の注意

- シート・テールカウル・ウインカー・サスペンション・マフラーの形状等により、まれに本製品を装着できない場合があります。事前に取り付け車両の形状をよく確認の上、ご購入ください。
- バッグは走行に支障のない、安定した位置に装着してください。シート形状や取り付け位置等により装着後も安定しない場合がありますので、走行前に必ず操縦に支障のない事を確認し、また脱落等の無いように確実に装着してください。
- 走行による振動等で固定ベルト等は緩む場合があります。走行前には緩みがないか必ずチェックし、常に適切な装着状態で使用してください。
- バッグ本体やベルト・バックル等が車両に当たる場合は、事前に市販のプロテクターシート(モトフィズプロテクターシート:別売)等でその部分を保護する事をお勧めします。
- 接続する高温には対応していません。エンジン・マフラー等、車体の熱くなる部分には触れる事の無い様に装着してください。
- 固定ベルト等に傷や綻びが生じた場合は、破損、脱落の恐れがありますので必ず交換してから使用してください。(補修パーツリスト参照)

▲ 使用上の注意

- 荷物の無理な押し込みは確実な装着を妨げる恐れがあるので避けてください。
- 荷物は前後左右均等に位置、重量をバランスよく収納してください。
- 林道や砂利道など荒れた路面では振動でバッグが脱落する恐れがあります。常に緩みチェックを行い路面の状況に充分注意して走行してください。
- 本製品の最大積載量は上部積載を含めトータル10kgです。最大積載量を超える積載は脱落、破損の恐れがあるので避けてください。
- 角が鋭い重量物を入れると、内装が破損する恐れがあります。その場合はバックル等で包んで収納してください。
- 携帯用サンボット、ガスボンベ等、引火性の強い危険物は収納しないでください。
- レインカバーは付属していますが完全防水ではありません。雨天使用時は内部の荷物を予めビニール袋に入れる等の対策を行ってください。
- 走行風によりレインカバーがバタつく場合があります。その時は市販のコード類を使用する等の対策を行ってください。
- バッグは生地や縫製方法など通常の使用での耐久性は充分に考慮されていますが、磨耗、ファスナーやボタンの開閉、バックルの扱いなどで無理な力を加えたりすると破損する恐れがあります。大切にお使いください。
- 本製品を長時間取り付けていると色移りする事がございます。特に白い場所等は本製品を装着したまま放置しないでください。
- 寸法、容量等の表記に付きましては、個体別の誤差が生じる場合がございますのでご了承ください。
- 仕様は改良のため、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

▲ テーブル使用上の注意

- テーブル上で火器(ランタンやバーナー等)、高温の容器、熱したフライパンや鍋などを置かないでください。熱伝導によって、溶けたり、変色、破損のおそれがあります。
- テーブルを展開した状態でバイクへの積載及び走行はしないでください。
- テーブルの耐重量は3kgです。耐重量以上の物は載せないでください。
- テーブルとバッグは一体構造です。テーブルだけを取り外しての使用出来ません。
- 火の近くおよび高温の場所に近づいたり放置したりしないでください。
- テーブルの上にモノを置いた状態でテーブルを移動させないでください。食器等が転倒し、火傷につながり大変危険です。
- 組立、設置、収納時や使用の際、指や手を挟まないよう充分にご注意ください。
- 平坦な場所で完全に製品を展開した状態で使用してください。傾斜や不平整地での使用は転倒や破損の原因となります。
- 急激に衝撃が加わるような使い方はしないでください。
- 片側の脚を浮かせて使うなど、著しく一方の脚部に体重をかけたまま、テーブルの上に乗りたり座ったり、踏み台として使用しないでください。
- 脚部の長さ調整は必ず使用前に行ってください。
- 器具を分解したり、改造したりして使用しないでください。

保管とお手入れの方法

- 表面等の汚れは、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭き取って、良く乾燥させてください。
- 雨天走行等で濡れた場合は、そのままにせずバッグ内外の汚れと水分を拭き取りすべてのファスナーを開いて、日陰の風通しの良い所で乾燥させてください。
- 撥水性能を維持するため、バッグの表生地に定期的に市販の撥水スプレー等でコーティングする事をお勧めします。
- 保管の際は乾拭き・陰干しをしてから湿度、温度が低く風通しの良い場所に保管してください。

▲ 注意

ベンジン、シンナー、ガソリン等の有機溶剤の使用、及び水での丸洗いは生地を傷める原因となりますので避けてください。



タナックス株式会社
〒270-0151 千葉県山手市後平井107-3
TEL:04-7150-2450 (月~金 9:00~18:00)

TANAX WEB サイトへ
簡単アクセス!

http://www.tanax.co.jp/motorcycle/

